

川崎市危機管理本部危機管理部 茂木
電話 044-200-2478

備える。 かわさきマガジン

SONAERU KAWASAKI magazine

Autumn Issue 2025.9 vol.8

いつ起こるかわからない地震や風水害などの災害。

「備える。かわさき マガジン」では、誰もが防災・減災を
ふだんの生活と結びつけて考えられるよう

「防災をカルチャーに」をコンセプトとして

さまざまな専門家から防災に役立つ情報を教わります。

今回は、ドッグアドバイザーにお話を伺いました。

※インタビューの様子は「川崎市ほうさいチャンネル」でも配信予定です。

ペットとの避難生活に備えよう、 3.11で役立ったしつけ。

高田 由香さん

SONAERU interview



たかだ・ゆか／日本ドッグパーク普及協会認定ドッグアドバイザーA級。日本ペットマッサージ協会認定ペット
マッサージセラピスト。2006年に「犬の保育園」を開園。他に、ペット共生マンションでのしつけ教室やセミナー、
ペットマッサージのデモ、ペット相談やコラム執筆など、多分野で犬に関わる。

しつけや遊びを楽しく学ぶ「犬の保育園」

20年ほど前に愛犬のコーギー2匹としつけ教室に通っていた頃、トレーナーの指示や合図を聞いて行動する愛犬の姿に感動し、自分でもドッグトレーナーの資格を取って転職しました。

2006年から園長として「犬の保育園」を開園しました。当時はペットホテルや訓練所はありましたが、わんちゃんが通って社会性やしつけを楽しく学ぶ場は、まだあまり一般的ではありませんでした。今では、子犬から成犬・老犬までが通う「犬の保育園」としてすっかり浸透しました。長年通っている老犬ちゃん達にとっては、デイケアサービスのようなものですね(笑)。

東日本大震災で活きた日頃のしつけ

東日本大震災が起きた時、首都圏にあるうちの保育園も、建物が大きく揺れました。その時は全部で12匹のわんちゃんを預かっていましたが、ふだんから自分のクレート(キャリーやケージ)でお昼寝させるようにしつけていたので、どのわんちゃんも自分のクレートに入っていて騒がず平気な様子。



「いつものクレートでお昼寝なんでしょう?」って平然としている子も。余震はありましたが、どの子もちゃんと安全なクレートに入ったまま、パニックになることなく、飼い主さんのお迎えを待つことができました。日頃の訓練の大切さを実感した体験でした。

地震では室内でモノが飛び交ったり落ち

と教えるために、真っ暗な部屋で懐中電灯を使い、おやつをあげて落ち着いて過ごせるように、停電トレーニングも行いました。わんちゃんって、見慣れないものや環境を怖がって吠えやすいので、いつもと違う停電時の雰囲気慣れさせておくのとパニックになりにくくなります。

飼い主さんにしかペットは守れない

災害時は、大きな揺れや緊急地震速報の音などで、ペットがパニックに陥ります。飼い主さんの動揺や不安はペットにも伝わります。なるべく平常心を保ち、「大丈夫だよ」とペットに優しく声がけてあげてください。ペットは飼い主さんだけが頼り。ペットの命は、あなたにしか守れません。

そして災害時だからこそ、日頃のしつけが生きてきます。ぜひ今日から裏面のトレーニングを始めてくださいね。



て壊れたりします。そんな時もわんちゃんがクレートに入る習慣を身に付けていれば、怪我をさせずに守れます。同行避難で避難所に連れて行く時も、クレートに慣れていれば避難生活が楽になります。

計画停電時には停電トレーニングも実施

その後、計画停電が予定されているという話があったので、「暗くても怖くないんだよ」

防 災 × ペットライフ

高田さんが教える
SONAERU
Training
防災×しつけ

ふだんの「しつけ」がペットの安全・安心につながる！

川崎市では、原則全ての避難所でペットとの同行避難が可能ですが、飼い主さんがペットのための防災用品を持参する必要があります。そのためにも、同行避難するためのクレートトレーニング、ペットの健康を守るためのトイレトレーニングやマナーおむつの着用が重要となってきます。ふだんから練習しておきましょう。

キャリーやケージを好きになろう クレートトレーニング



step1

クレートの中に入って、ペットが静かにリラックスしていただけるための訓練です。まずペットをクレートの前で座りさせます。



step2

「ハウス！」の声を合図に、自分でクレートの中に入るように促します。なかなか入らない場合は、クレートの中におやつを入れておき誘導します。



step3

クレートに入ったら褒めておやつをあげ、扉を開けて中で過ごさせ、扉を開けて出てきたら、また褒めておやつをあげる、を繰り返します。クレートは、いつも室内に置き、ペットにとって安全で安心できる場所として記憶させます。

POINT



- クレートは、ペットが中に入って一回転できるサイズで、運びやすい製品を選びます。素材はハードタイプで、国際航空運送協会の安全基準に合致している製品を目安にしてください。
- クレートに入っている間は、タオルで覆って、中で静かに過ごせるようにします。
- ごほうびは、好きなフードを少量ずつ、回数を分けて使います。

「ワンツー」で排泄の声がけ トイレトレーニング



step1

排泄するタイミングでペットシートの上に立たせ、「ワンツーワンツー」という声がけで排泄できるように練習します。声がけは根気よく。

step2

ペットシート上で排泄できたら、ごほうびのおやつを与え、ペットが大喜びする位大げさに褒めましょう。何回もこれを繰り返します。



POINT

- 犬種や性質により異なりますが、室内のペットシートで排泄する習慣が身につけば、トイレのための散歩ができない災害時には非常に役立ちます。
- 排泄するタイミングを逃さず、排泄したがる時間帯にトイレトレーニングをしましょう。楽しいトイレ習慣になるよう、失敗しても叱らずに。

着用できると安心 マナーおむつ



ペットの同行避難が可能な避難所では、マナーおむつを着用できると、病気やマーキング予防になります。嫌がる子もいるので無理強いはいしないで、様子を見つつ、ふだんから徐々に慣れさせましょう。

高田さんオススメ
SONAERU
Goods
防災×ペット用品

はぐれてしまった時に迷子札・スマートタグ



ペットとはぐれた場合に備えて、迷子札があると安心です。連絡先を刺繍でき紛失の心配のない首輪などもあります。スマホで追跡できるスマートタグも利用しましょう。

暑さ対策にクールシート・Tシャツ



素材自体にクール効果があるシートやTシャツは、停電で冷房が使えない場合に役立ちます。クールシートは、人間用の製品でも代用可能です。

SONAERU
Tips
防災×情報

川崎市と
かわさきFMの
コラボで実現した
防災ラジオ



聞こえる安心 防災ラジオ、はじめます！

情報取得手段の一つとして、地域コミュニティ放送(かわさきFM)を活用した、「防災ラジオ」の無償貸与・有償配布を開始します。防災ラジオは、緊急地震速報や国民保護情報等、緊急性の高い情報が発信された際、電源がOFFの場合でも自動的に起動し、最大音量で放送を行います。



詳しくはかわさきFMの
サイトをご覧ください▼



川崎市 防災ポータルサイト



災害時の避難情報
避難所の開設情報などを
リアルタイム表示

川崎市 ほうさいチャンネル



防災学習動画や
イベントの様子の
撮影した動画

備える。かわさき マガジン 第8号

2025年9月発行

発行：川崎市危機管理本部危機管理部
TEL.044-200-2894

制作：株式会社 ノクチ基地

編集アドバイザー：一般社団法人減災ラボ 代表理事 鈴木 光



本マガジンの
ホームページは
コチラ

フォローお願いします！ 公式SNS X(旧 Twitter)



@Kawasaki_bousai



Colors, Future!
いろいろって、未来。

川崎市